

第3学年 学級活動指導案

令和2年11月13日（金）第5校時

- 1 題材 はしの使いかた名人になろう
学級活動（2） エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材について

（1）児童の実態（男子 名 女子 名 計 名）

非常に明るく元気な学級である。児童にとって給食は楽しみのひとつであり、今日の給食は何かよく話題に上がっている。 %の児童は、「食事は、大切だ。」と考えているが、給食での残量は多く、約 %の児童が嫌いなものは食べないと回答している。食事のマナーに関しては、気をつけて食べている児童は %しかいない。給食中のはしの持ち方を見てみると、 %の児童が正しくはしを持つことができていない。ごはんつぶがきれいにとれないなど、食べることに時間がかかり、給食の時間内に食べ終わることができない児童も見受けられる。

○食事（食べること）は大切だとおもいますか？

- ・はい・・・ %
- ・いいえ・・・ %
- ・無回答・・・ %

○好き嫌いせずに何でも食べていますか？

- ・何でも食べている・・・ %
- ・どちらかといえば何でも食べる・・・ %
- ・どちらかといえば何でも食べていない・・・ %
- ・食べていない・・・ %

○食事のマナーに気をつけていますか？

- ・気をつけて食べている・・・ %
- ・ときどき気をつけて食べている・・・ %
- ・あまり気をつけていない・・・ %
- ・ほとんど気をつけていない・・・ %
- ・無回答・・・ %

（2）題材設定の理由

近年「おいしく食べられれば、はしの使い方はそんなに気にしない」というように、はしを正しく持っていていなくても、無理に直さなくてもよいとする風潮も感じられる。しかし、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された「和食」には、日本人が大切にしてきた心や知恵が多くつまっている。「箸の文化」もその一つである。昔から伝えられてきた「はしを使うときのマナー」から、日本人がいかに美しく食事をするにこだわってきたかを知ることができる。また、学校給食を通し、和食が栄養バランスに

優れていることや、日本の食文化を伝えるうえで、和食を楽しんで食べられるように、はしの正しい持ち方や上手な使い方の習得は欠かせないとする。

そこで、本時の学習では、正しくないはしの持ち方を劇で見せ、どこがよくないのかを考えさせることから、はしのすばらしさを知り、はしを正しく持ちたいという気持ちを持たせたい。また、「スポンジ」や「大豆」を使い、はしの持ち方を楽しく体験させ、はしの使い方名人になりたいという意欲につなげたい。

3 本校研究主題にせまる手立て

(1) 本校研究主題 いのちの大切さを実感し、たくましく生きる児童の育成

～自分の考えをもち、伝え合う児童の育成を通して～

(2) 主題にせまる手立て

- 食事をおいしく楽しんで食べられるように、正しいはしの持ち方や上手な使い方の習得を目指す。
- グループ活動を通して、自分の言葉で伝え合い、正しいはしの持ち方を理解する。

4 指導のねらい

(1) ねらい

- ・自分の食事の仕方を振り返り、はしを正しく持って食べようとする意欲を育てる。

(2) 食育の視点

- ・はしの働きについて関心を持ち、食事の大切さを知る。【食事の重要性】
- ・正しいはしの持ち方を知り、正しく持って食べようとする。【社会性】

5 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
食事をおいしく楽しんで食べるために、正しいはしの持ち方や使い方を理解している。	①なぜ、はしを正しく持てるとよいのかを考えることができる。 ②自分のはしの持ち方と正しいはしの持ち方の違いに気づき、正しくはしを持とうとしている。	食事をおいしく楽しんで食べるために、自分のはしの持ち方を振り返り、意欲的に正しいはしの持ち方を練習しようとしている。
食育の視点に即した評価規準		
* 正しいはしの持ち方を知り、正しく持って食べようとする。【社会性】		

6 事前指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
アンケートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーアンケートを実施し、学級の実態を把握する。 ・自分自身の食事の仕方を振り返ることで、本時の導入へとつなげる。 	アンケートを通して、食事のマナーについて振り返ろうとしている。 【態度】 アンケート

7 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T 1 (学級担任)	T 2 (栄養教諭)		
導入 5分	1 劇を見て、考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくないはしの持ち方を劇で見せ、どこがよくないのかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・劇の補助を行う。 		
展開 35分	2 本時の課題を知る。(2分)	正しいはしの持ち方を知ろう。			
	3 正しくはしを持てるとよい理由を考え発表する。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を確認させる。 ・一人ひとり、なぜはしを正しく持てるとよいのかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく持てるとよい理由を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく持てるとよい理由の黒板掲示。 	なぜ、はしを正しく持てるとよいのかを考えることができる。 ② (思考・判断・表現)
	4 はしの持ち方を見せ合う。(3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアではしの持ち方を見せ合い、自分の持ち方に近い絵に○をつけさせる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分のはし ・ワークシート1 	【態度】
	5 正しいはしの持ち方を知る。(5分)		<ul style="list-style-type: none"> ・正しいはしの持ち方を見せ、正しい持ち方のポイントを示す。 		
	6 正しいはしの持ち方を練習する。(20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・4人グループで、正しい持ち方を確認しながら、練習させる。 ・グループに1人正しく持てる児童が入る 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習方法を伝える。 ・スポンジをはしではさみ、はしの動かし方を練 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のはし ・スポンジ、大豆 ・ワークシート2 	自分のはしの持ち方と正しいはしの持ち方の違いに気づき、正し

		<p>よう考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速度ではなく、正しく持てていることが大切であることを伝える。 ・正しい持ち方ができるよう支援をする。 	<p>習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい持ち方チェックポイントを確認しながら進めさせる。 ・正しい持ち方ができるよう支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート3 	<p>くはしを持ってうとしている。(思考・判断・表現)【態度】</p>
終末5分	<p>7 本時の振り返りをする。(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいはしの持ち方を理解しているか、ワークシートで確認する。 ・自分のはしの持ち方を振り返り、これからがんばりたいことを書かせる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1 	<p>正しいはしの持ち方を理解している。(知識・技能)【ワークシート1】</p> <p>自分のはしの持ち方を振り返り、はしを正しく持って食べようとしている。(主体的態度)【ワークシート1】</p>

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>1週間のはしの持ち方チェックをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の取り組みを保護者に伝え、家庭でもはしの持ち方や食事のマナーへの関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも、正しくはしを持つとうと意識して食べている。(態度)【ワークシート1】
<p>おはし教室で練習を重ねる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が継続して正しいはしの持ち方を練習できるような環境づくりをする。 ・誰でも利用できるようなステップアップできるような活動を用意する。 ・はし名人カードを各自づくり、意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいはしの持ち方を練習し、正しいはしの持ち方を意識して食べることができる。(態度)【はし名人カード】

8 板書計画

正しいはしの持ち方を知ろう

なぜ、はしを正しくもてると
いいのかな？

- ・きれいに食べられる
- ・正しく持てなきゃダメだから
- ・カッコいいから
- ・食べにくいから

正しいはしの持ち方

正しい持ち方
チェックポイント